

## 過去と現在をつなぐ歴史的思考力を高める

社会問題を含むリアルタイムなニュースに関連する歴史を検索し、検索された歴史上の因果関係を考える学習支援システム「歴史タイムマシン」を用いて、そのニュースの問題を新しい切り口で捉えるようにしていきます。特に従来の調べ学習も1人1台の端末により、各自がHR教室内でWEBにアクセスして行うことができます。


各自でスライドにまとめたものを担当教師と共有する中で、授業の中で個別にアドバイスをしやすくなりました。またプロジェクターでの投影やTeamsなどでのツールで画面共有を行うことで、今行っている作業を再確認できたり、他者の意見を簡単に共有することができます。

<1年・世界史A（2単位）>

### ICT活用のポイント

最初は生徒も教師も操作に手間がとることが多少あるので気長に待ちます。接続が切れたり、上手くいかなかったりした時は、私はよく生徒に「なんでも最初うまいかない事の方が多いから、これから徐々に良くなっていく」と伝えています。



 授業風景動画(58秒)

1. 授業の目的、内容の理解(10分)

2. タブレットでの調べ学習(20分)

3. Officeでスライドにまとめる(30分)

4. 教員やチームでスライドを共有しアドバイスをうける(25分)

5. スライドをチーム内で発表(15分)

授業実施の流れ（全2～3時間）



使用ツール「歴史タイムマシン」  
<http://www.historymining.org/history-timemachine/>

### 協働作業によりチーム内での責任感を持って取り組む態度を養う学習

チームに与えられた歴史用語を年代順に並べ替えるミッションに取り組ませた。

1班10名で構成し、学習展開は、まず、班内で誰がどの用語を調べるのかを相談させ、各自が割り当てられた課題に取り組ませる。そして、各自が調べた歴史用語を年代順に並べ、前後のつながりを明示させる。

<第2学年・世界史A>

#### ICT活用のポイント

協働作業が深まるよう、相談は「共有」機能を使用し、「声」によるコミュニケーションは禁止とし、画面上でのコミュニケーションに限定した。



グループ活動による動画制作

(目的)

- これから求められる自ら学ぶ力、協働して成しとげる力、コミュニケーション能力の育成
- ・ICTを用いた調べ学習（探究型学習）
- ・学んだことを発信する
- ・協働作業によりチーム内での責任感を持って取り組む態度を養う

(手段)

- ・Googleドキュメントの「共有」機能を使う

(評価項目)

- ・より深く学ぶことができたか
- ・正しい文章でまとめているか
- ・写真を入れているか
- ・チームの作業を効率化するためにリーダーがいるか
- ・コミュニケーションをとりながら、役割分担を決めることができたか
- ・各自が責任を果たしているか
- ・チームとしてミッションをクリアーしているか

## GISの活用とICTを用いた共同編集によるレポートの作成

エラトステネスによる地球の円周の測定を参考に，GISを活用して地球の円周を測定する演習を実施した。計画書の作成はGoogleドキュメント等を活用した共同編集を認め，対話的な学習を促すとともに，提出された計画書やレポートにはGoogle Classroom内で個別にフィードバックすることで深い学びを促した。また「計画書作成→演習→レポート作成」の過程が「仮説→検証→考察」という探究的なプロセスと重なるように設計したことも深い学びにつながると考える。

Google Classroomで課題を提出できるようにしたことで，生徒一人ひとりの学習状況や成果物の変容を把握することができ，個々人の到達度に応じた評価が可能になった。

### <2年地理B 地理情報と地図>

#### ICT活用のポイント

とにかくGISやICTを使ってみることを念頭に実施した。

共同編集の方法は事前に説明しておいた方がスムーズに課題作成に取り組めただろう。



GISを活用した演習の様子

**地球の大きさ（円周）の測定に関するレポートを作成してください**

宮内俊輔  
40点

「演習計画書」及び演習における測定結果，測定結果に対する考察に関するレポートを作成し，提出してください。詳細は「課題\_レポートの作成」を確認してください。  
Word形式の様式を配布しています。適宜活用してください。

ループリック: 条件 4 個

世界地勢史レポート（様式）.... Word	課題_レポートの作成.pdf PDF
---------------------------	-----------------------

クラスコメント 2 件

Google Classroomによる課題配信

#### 授業展開

授業（講義）  
課題提示

演習計画書作成

共同編集可・提出は個人

個別に

フィードバック

GISを活用した  
演習の実施

レポート作成

個人で作成

個別に

フィードバック

## 調べる・まとめる ～探究型テーマ学習～

現代社会の探究学習で、「現状分析→課題設定→解決策提案」という大きな流れを体感させる授業を年に2回実施しました。班ごとに複数台のタブレット型端末を与え、以下のように活用しました。

- ・現状分析：Webでデータ収集、Teamsで班内共有
  - ・解決策提案：Teamsでポスター共同同時作成
- 与えたテーマ（以下の中から選ばせたり、1つに全員で取り組んだり）
- ・奨学金の現状と課題
  - ・まちの課題発見と解決策の請願
  - ・コロナ禍を乗り切る企業とは
  - ・2021年兵庫県知事選挙で候補者がかけざるべき課題とは

### ICT活用のポイント

生徒は工夫してICTを活用し、すぐに順応していきます。ただし、全て生徒に丸投げでは、授業中に無駄な時間が生じます。結局、教師が事前にどれだけ予備実験をするかにかかっています。



使用したTeamsの画面

- ・班ごとにTeamsのチャンネルを割り当て
- ・投稿欄は授業の記録となる（ポートフォリオ的役割）
- ・ポスター作成はTeams上で同時作業が可

## 発表する ～他クラスとオンラインで～

オンライン会議のアプリを使えば、他クラスとの合同発表が可能です。目の前のクラスメイトだけでなく、画面の向こうの誰かにも伝えなければならず、発表内容以外に「見せ方」も工夫する必要があります。班内で、発表する人・ホワイトボードを操作する人・画面上で拡大縮小やポインタを操作する人など、うまく分担して聞き手全体に発表内容を伝えます。

本校には普通科と総合理学科があります。違う学科の生徒の意見を聞いたことが新鮮で、新しい見方をすることができたという感想が多く見られました。



授業風景動画（左：発表40秒、右：他クラス発表30秒）

## 収集した情報を基に、ICTを活用して話し合う

学校設定科目「社会科学入門」（公民科）で、「死刑制度の存続の賛否」について新聞記事などの資料を読み、それぞれで意見を考えた。ICTを活用することで、その意見を簡単にまとめることが出来ること（文字の入力、挿入や切り取りなどが容易でまとめやすい）。さらには、簡単に意見共有ができて、議論する際の資料になる利点を活用した。生徒は、賛否について、その理由を他の生徒にわかるようにまとめる工夫が出来た。

生徒が入力・編集している内容をリアルタイムに教員が把握するためにはアンケート機能では難しいこと、文書作成や表計算ソフトでは、生徒の意見共有がしにくいことなどの課題がある。GoogleClassroomおよびスプレッドシートを使ってこれらを解決しながら授業実践を行った。

### ICT活用のポイント

「IMPORTRANGE関数」を使って生徒の入力した内容が一覧で把握できるようにまとめ用のシートを作成。生徒達はお互いの意見を見ながら議論したり、自分の意見修正を行った。いかにお金をかけずにICT利用の工夫が出来るか、チャレンジすることも楽しい。



Googleスプレッドシート  
教員は生徒の入力中に確認が出来る



授業風景（個別）



授業風景（グループ）